



感動！響きわたる「よつば校歌」

～校歌完成披露会が開催されました～

3月3日(月)、庄内よつば学園の校歌完成披露会を作曲していただいた西村由紀江さん、作詞していただいた相花奈音さんを迎えて開催されました。当日は、2限目に庄内南小・千成小、4限目に庄内西小、6限目に第七中のそれぞれの体育館において、全校児童生徒へ校歌を披露するという形で実施しました。第七中は、生徒会集会の位置づけの中で取り組まれ、生徒会執行部の進行で会がすすめられました。

オープニングに豊中で生まれた曲「幸せを運ぶピアノ」を西村さんによるピアノ演奏で会がスタート。西村さんにとって校歌の作曲は、7校目ですが、今回は故郷の地である豊中の学校の校歌だけに思い入れも深く、気合も入ったとのこと。さらに大人になって校歌を聞くと、その時代の友だちの顔や思い出がよみがえってくるもので、先輩から後輩へとずっと歌い継がれていくものなので責任重大だなと思いながら曲作りに入られたと言われていました。

また作詞を手がけていただいた相花さんを迎えてのトークでは、よつばの校歌づくりへの思いをお互いに語っていただきました。昨年度西村さんは各校において学校コンサートを開催、相花さんも昨年各校を回り、子どもたちの授業や活動する様子を見ていただきました。その時に感じた「元気よく、のびのびと学校生活を送る子どもたちの姿」をイメージして曲や歌詞を創りあげていったということでした。

その後、校歌の録音に取り組んだ第七中の合唱隊(生徒会役員及び1年有志)の子どもたちが録音にむけて取り組んだ様子をトヨナカベンチャーさんにつくっていただいたメイキングビデオ「校歌の録音ができるまで」を全員で見ていきました。

最後に、各校の合唱隊による「よつば校歌合唱」で締めくくられました。合唱隊は、庄内南小・千成小では、56年は卒業式等の準備や練習等もあるので、今回は代表して4年の子どもたちで組織。庄内西小では、1年から6年の希望する子どもたちから約30名に絞り込んで組織。第七中は、録音を行った合唱隊のメンバー10人が歌ってくれました。「緊張してるけど、楽しく集中して歌いたいです」と歌う前に話していた通り、どの学校の合唱隊も会場に響きわたるとても素晴らしい歌声を聞かせてくれました。西村さん、相花さんから「とても感動しました」との言葉をいただき、暖かな拍手に包まれた和やかな雰囲気の中で校歌披露会を終えることができました。

校歌は、豊中のホームページの庄内よつば学園の「校歌」のページにいけば試聴することができます。(⇒ 右の2次元コードを読みとってください)



庄内よつば学園の建築工事



2/25 航空写真より

庄内よつば学園開校に向けて、建設予定地では基礎工事につづいて、校舎建築がすすめられています。外からは、シートがあるのでなかなか中の様子を見ることはできませんが、2月末に工事現場の中の様子を少し見る機会があったので、写真とってきました。

現場では、たくさんの大きなクレーン車が並び、ちょうど1階部分の鉄骨等を組み立てている状況が見とれました。現場では、「ヒヤリハットで冷汗よりも、安全作業でよい汗を！」とのスローガンの看板等も掲げられ、2月末完成を目標に、工事が進められていく予定です。

